

平成 33 年度名古屋市立大学入学者選抜（平成 32 年度実施）の基本方針について【予告】

平成 30 年 10 月 31 日

「平成 33 年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について（通知）」（平成 29 年 7 月 13 日付け 29 文科高第 355 号文部科学省高等教育局長通知）を踏まえ、本学の平成 33 年度大学入学者選抜（平成 32 年度実施）の基本方針を以下のとおり定めました。

なお、実施方法等の詳細な内容は、あらためて後日、公表を行う予定です。

1 趣旨

本学の入学者選抜については、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえた入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、「学力の 3 要素」（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価するものへと見直しを図ります。

2 大学入学共通テストの取扱い

(1) 現行の大学入試センター試験の取扱いと同様に、一般入試（前・中・後期日程）、推薦入試 B、医学部地域枠推薦入試、総合生命理学部名古屋市立高等学校連携指定校推薦入試については、大学入学共通テストを課します。

また、平成 33 年度大学入学者選抜（平成 32 年度実施）から導入する医学部名古屋市高大接続推薦入試についても、大学入学共通テストを課します。（今後、これらの入試の見直しを行う場合や新たな入試を行う場合の取扱いは、別途公表します。）

(2) 合格者の決定にあたり、国語と数学 I については、マークシート式問題、記述式問題の両方の結果を活用します。

3 大学入学共通テストの枠組みにおける英語の資格・検定試験の取扱い

(1) 大学入学共通テストにおいて実施される英語を課すとともに、大学入試センターが認定した民間の試験実施主体による英語の資格・検定試験を活用します。

(2) 受験者の受験機会の公平性を保証する観点から、前記（1）は、大学入試センターが認定した全ての資格・検定試験を対象とします。

4 入学者選抜における「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価

受験者の「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価する方法として、面接、小論文、調査書、受験者本人の記載する資料等を活用する方向で検討しています。